

中川村新し字校新聞

第3号 / 2026.02.05

発行元 / 中川村教育委員会

企画編集 / 学校をともにつくる会

今後のスケジュール (見通し)

計画変更を受けて 新たな学校づくり委員会 メンバーのご意見

ブレることなく 歩みを進めます／ 片桐俊男（教育長）



「シンポジウムで田中
究室の学生のみなさん
作ってくれた模型を見よ
んなのうれしい顔も今
なつてはむなしくなつて
まつた。」

学校新聞で取り上げていただきたとおり方針を変更しましたが、これまで村民の皆様と一緒に新たに教育や施設の在り方にについて検討を重ねてきた土台が

とすることなく取り組んでいきましょう。今回の計画変更も含めて新たな学校づくりは、子どもたちにもよい教育になると思っています。

ていくとか、先を見据えながら常に最適な判断を繰り返していく時代だと思うので、そういう意味でも今回の流れがこうなつてよかつた、と後で思えるような計画を皆さんと共に形

教育委員会では、6月から新設校舎についての詳細検討を進め、10月のシンポジウムでは、早稲田大学田中研究室作成の模型で校舎のイメージをお示しました。しかし、併行して9月から始まつた役場庁内での学校建設に係る財政面での検討の結果、今後予定されるリニア工事関連事業、望岳荘の改修、チャオ周辺整備など大型事業を行つ

そうした状況で行われた第5回新たな学校づくり委員会では、早稲田大学田中先生より心強いご意見をいただきました。

ありません！世の中には既存校舎を改修して
小中一貫校や義務教育学校にして
いる事例はたくさんあります。

A cartoon illustration of a young boy with a surprised or excited expression. He has a large head, wide eyes, and his mouth is open. He is wearing a yellow baseball cap with the text "イマココ" (Imakoko) on it. He is also wearing a green sleeveless vest over a white shirt, with the characters "中川" (Nakagawa) printed on the front. He is standing on a blue surface, possibly a skateboard, which has some Japanese text on its side. The background is plain white.

替えは、村の財政状況が非常に悪化する見通しであることがわかりました。また、各種助成金の制度活用についても検討しましたが、十分な配当が見込めないことが分かり、新たな学校の全面立て替えは困難であるとの見解に至りました。

よい事例を参考にしながら、新たに学校づくり委員の皆さんのが検討を進めてきた素晴らしい教育の基本計画を基に、また研究室の学生たちとワクワクするものをつくつてお見せしたいと思つています。ぜひ一緒に、ショボン

今までの校舎を 最大活用へ！

